

(98) 秋津村道路元標跡

所在地 秋津村大字沼山津字下津代里一五二五番地 役場前  
(現 沼山津二丁目一四番?号 秋津校区二町内公民館前)

会所の所在地で、沼山津手永の行政の中心であった、「上津代里から中津代里・下津代里」と東西に走る古くからの道路沿いの秋津村役場前に『秋津村道路元標』が設置されていた。

この秋津村道路元標は、大正の道路法によって、「大字沼山津字下津代里一五二五番地先」に設置されたもので、文字通り秋津村における道路の基準点を示す標石であった。

道路元標は、江戸時代街道網から引き継いだ明治時代の道路網から脱皮し、近代道路網を推し進めた大正プロジェクトの独特の制度とも云われている。秋津村道路元標の設置は、標石の角をとるとの様式が公布された大正十一年(1922)八月以降と考えられる。

道路元標は、二十五センチ×二十五センチ×六十センチの角柱で、正面に「道路元標」、左側面に「上益城郡秋津村」と刻まれていた。

秋津村とは、明治二十二年(1889)から昭和二十九年(1954)までの村名。明治二十二年の四月を期して町村の大合併が行われ、沼山津村と秋田村が合併して「秋津村」が誕生した。村名は、秋田の「秋」と沼山津の「津」をとり、日本の古名「あきつしま」になぞらえて命名されたという。

村役場は、沼山津字下津代里におかれ、熊本市に合併するまで村行政の中心であった。昭和二十九年(1954)十月一日、熊本市へ合併編入され、「熊本市秋津町」となり、秋津村は閉村した。

旧村名を留めている道路元標跡は、歴史の生き証人とも云える。大正時代のプロジェクトの遺産として大切に保存していきたいものです。

ちなみに『熊本市道路元標』は、大正十三年(1924)二月に設置され、白川公園内(三号線側)にある。

1430

(中村安幸 提供)

## 参考文献

- 熊本市東部地区文化財調査報告書 ( 熊本市教育委員会 )  
秋津村略史 ( 秋津村 富島末雄 )  
秋津小学校百周年記念誌「秋津の歴史」 ( 秋津小学校 )  
圃場整備事業完成記念 「豊穰」 ( 秋津飯野土地改良区 )  
郷土読本 ゆめの実現を ふるさと くまもとの人々 ( 熊本市教育委員会 )  
新熊本市史別編 第2巻 ( 熊本市 )  
角川日本地名大辞典 43 熊本県  
肥後読史総覧 上・下巻  
熊本県歴史の道調査  
益城町教育委員会 猫伏石案内板  
川尻町史  
健軍三菱物語 熊本は東へ  
熊本不思議辞典

監修 講師 松野 国策

受講生 熊本市66万市民総郷土史家運動

地域かたりべ学習会 (秋津・健軍地区)

小田 邦秀 (秋津 校区)

田村 光夫 (桜木 校区)

岡本 勝恵 (泉ヶ丘校区)

中村 安幸 (託麻南校区)

編集・ワープロ入力

中村 安幸 (託麻南校区)

平成14年3月